

月詣和歌集

巻第四四

月附恋上

山中萤火といふことをよめる

覚延法師

こよひこそをぐらの山もなかりけれ
このしたやみに螢みだれて

螢火螢船といふことをよめる

賀茂重仲

とまやかたてらす螢はひこぼしの
妻むかへ舟こぐかとぞみる

蒲草化為螢といふことをよめる

荒木田成実

五月雨にをがやの軒のくちぬれば
やがて螢ぞ宿にとびかふ

湖上螢火といふことをよめる

藤原範季朝臣

夏むしのかげみだるめりさざ浪や

しがのからさき風や吹くらん

「国歌大観」より